

11月19日（火）日野中学校を訪問しました！

対談テーマ

学校図書館の活用と読書活動の推進について

日野中学校における読書への興味関心を高め、深く幅広い知識や豊かな感性を培うための朝読書に、読み語りを取り入れたり、国語の時間を利用した読書活動を取り入れたりするなど学校司書が常駐している利点を活かした取組や地域未来塾として生徒が主体的な学びの場として学校図書館を活用される取組を見聞し、今後の学校図書館の活用と読書活動の推進について対談しました。



訪問した教育委員

野村 早苗 委員 塚本 晃弘 委員

日野中学校について



日野町唯一の中学校。読書活動の推進にあたり、朝の10分読書活動の日野タイムや地域の方による読み聞かせなどを実施。図書室には司書が常駐し、生徒の声を活かした蔵書を心がける。ガラス張りで、明るくぬくもりが感じられる空間。また図書室を利用した放課後学習会を部活動のない水曜日に「地域未来塾」として実施する。

意見交換より

委員：他市町の学校の司書が交流するような機会はありますか。
館長：教育しがでも紹介されていた河瀬中、守山中などと積極的に交流の機会を持ち、互いに研鑽していきたいと考えています。
委員：学校図書において司書として関わる中で子どもたちの変化は感じられますか。
司書：読書だけが要因ではないと思いますが、落ち着きが見られたり、段々と難しい本を借りたりといった成長する姿が見られることが嬉しいです。
委員：中学校の読み聞かせでは、どのような絵本を読まれているのですか。
校長：社会に目を向けたり、道徳的な要素を取り入れたりしている絵本、また地域に根差した昔話などボランティアさんや司書が新たな興味関心の入り口となるような本を選んでくださっています。

委員：教室に入りづらい子が図書室に足を運んだ時どのように対応されていますか。
司書：先生と一緒に来室するケースが多く、先生と連携しながら、子どもにはゆっくり本を選んでもらっています。
委員：人気のランキングの中にいじめの本が見受けられました。いじめの本を手取る子の様子が分かれば教えてください。
司書：深刻な様子は見られません。朝日中高生新聞に連載されている漫画で読みやすく、加害、被害の心境が描かれ、すごく勉強になる本だと感じます。
委員：多国籍の子どもへの対応として多言語の本の対応でされていることがあればお聞かせください。
司書：ポルトガル語で書かれた本を購入した際、大変、喜ぶ姿が見られました。大変高価な本ですが、徐々に増やしていきたいと考えています。